

令和6年度 音江中央保育園における自己評価

NO	自己評価の観点	評価		
1	【乳児】保育の内容	A	B	C
	①一人ひとりの乳児の発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察している。	4		
	②乳児のしぐさを介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答している。	4		
	③乳児をあやしたり、抱いたりして、乳児が人に触れられて心地よいと感じる関わりをしている。	3		
2	【1～2歳児】保育の内容			
	①基本的生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っている。	3		
	②楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを大切にしている。	4		
	③ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるように配慮している。	3	1	
	④衣類の着脱など、丁寧にやり方を伝え、自分でしようとする気持ちを尊重している。	3	1	
	⑤子どもの意欲や自分でやりたい気持ちを尊重しながら、適切な援助をおこなっている。	3	1	
3	【3～5歳児】保育の内容			
	①生活に必要な習慣や態度を身に付け、いろいろな遊びの中で体を動かすことができるように配慮している。	2		
	②決まりがあることの大切さに気付き、自ら判断して行動できるよう配慮している。	2		
	③感じたことや想像したことなどを表現できるよう、様々な環境の設定に留意している。	2		
	④保育園の保育が小学校以降の生活や学習の基盤につながることに留意している。	2		
4	障がい児がいる場合			
	①その子の特性に合わせた個別支援のための計画を立てている。			
	②その子どもの保育に必要な知識を得るように努めている。			
5	1～3年目の保育士			
	①子どものスキンシップを大切にしながら、笑顔で接するように心がけている。	1		
	②先輩保育士の言動を真似し、保育で参考にできることを吸収するようにしている。	1		
6	4～6年目保育士			
	①研修で学んだことを活かしながら、積極的に実践へ移すことができている。			
	②保育の悩みや疑問を解決するために、研修、専門書などで、学ぶことができている。			
7	7年目以上保育士			
	①後輩保育士の模範となるような保育を示しながら、改善点の対策に向けた助言ができている。	3	1	
	②保護者の話に耳を傾け、誠意を持って応答することができている。	4		
	③保育士以外の職種の人たちへの気配りや協力関係に配慮しながら自分の役割を果たしている。	3	1	
	④保育士として経験に基づく保育スキルやチーム全体を支えるリーダーシップ、保育現場の改善に向けた取り組みをしている。	1	3	